

平成 17 年 7 月期 第 1 四半期業績の概況（非連結）

平成 16 年 12 月 10 日

会 社 名 サムコ 株式会社

（コード番号： 6387 登録銘柄）

（ URL <http://www.samco.co.jp> ）

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 辻 理

問い合わせ先 責任者役職名 管理本部長兼経理部長

氏 名 田井 彰

（ Tel : (075) 621 - 7841 ）

1 . 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の : 無
最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2 . 平成 17 年 7 月期第 1 四半期業績の概況（平成 16 年 8 月 1 日～平成 16 年 10 月 31 日）

（ 1 ） 売上高及び受注高

	売 上 高		受 注 高	
	百万円	%	百万円	%
17 年 7 月 期 第 1 四 半 期	554	(16.8)	858	(2.7)
16 年 7 月 期 第 1 四 半 期	666	()	882	()
（ 参 考 ） 16 年 7 月 期	3,374	(1.8)	3,159	(10.1)

（注）1 . パーセント表示は、前年同期比増減率を示しております。

2 . 平成 16 年 7 月期第 1 四半期より四半期業績の開示を行っているため、当該四半期の前年同期比増減率については記載しておりません。

[売上高及び受注高に関する補足説明]

当四半期におけるわが国経済は、04 年 9 月中間決算で好決算を発表する企業が増加した一方、デジタル景気に陰りの兆しが見られ今後の設備投資動向、雇用情勢や個人消費も不透明感を増す中で推移いたしました。

こうした環境の中、当四半期における当社の売上高は、携帯電話やデジタル家電用途を中心に市場が拡大している LED や LD 及び各種電子部品分野向けに、CVD 装置、エッチング装置および洗浄装置の販売が引き続き堅調に推移したものの、大型装置の出荷が第 2 四半期にずれ込みました。その結果、売上高は 554 百万円に留まりました。

受注高につきましては、研究開発用途として国内外の大学向けにマイクロマシン分野やシリコン集積回路分野で CVD 装置とエッチング装置がセットで受注でき、生産用途では海外向けに半導体回路の欠陥解析用でエッチング装置の受注が獲得できましたが、国内のオプトエレクトロニクス分野で一服感が見られました。その結果、受注高は 858 百万円となりました。第 2 四半期に入り CVD 装置、洗浄装置を中心に順調に受注獲得が進んでおります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

[概要]

当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象は発生しておりません。

(注) 平成 16 年 12 月 1 日より、株式会社サムコインターナショナル研究所はサムコ 株式会社へ社名を変更するとともに、株式売買単位を 1000 株より 100 株に変更いたしました。

3. 平成 17 年 7 月期の業績予想 (平成 16 年 8 月 1 日～平成 17 年 7 月 31 日)

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予 想 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中 間 期	1,800	265	155	—
通 期	4,400	750	445	90 34

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点において中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

以 上

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。